

## 令和3年度福岡県学力調査(5年生)の結果について

6月に5年生を対象に行われた、福岡県学力調査(国語・算数)の結果をお知らせします。この結果は学力の全てではなく一部です。しかし、この結果をしっかりと分析し、今後の指導に活かしていきたいと考えています。ご家庭におかれましても、お子様の学力の実態をとらえ、家庭で働きかける一つの資料としてお考えください。

### 国語(福岡県調査)

---

◇国語について、県平均よりやや上回っています。

◇特に「漢字の読み書き」や「主語 - 述語の関係を捉える」ことについて県平均に比べ正答率が高くなっています。一方、記述式の問題では県平均と同等となっています。

◇このことから、基礎的な知識及び技能について習熟が図られてきていることが分かります。これは、普段の授業はもちろん、宿題においても基礎的な問題を多く取り扱ってきた成果と言えます。記述問題等の活用力については、この基礎的な力を土台として今後、伸ばしていけるよう取組を行っていきます。

◆今後は、授業においてこれまで通りの基礎的な学力を高めていく取組と併せて、自分の考えを持ち、考えを交流し、表現していく活動を多く取り入れたり、書く活動を増やしたりしていくことで活用力を培っていきます。

### 算数(福岡県調査)

---

◇算数について、全国平均より上回っています。

◇どの領域においても高い正答率となっていますが、特に、「測定/変化と関係」「データの活用」の領域において、県平均に比べ正答率が高くなっています。一方、「図形」の問題については、県平均と同等となっています。全体的には「知識及び技能」の習熟が図られています。

◇このことから、国語と同様に基礎的な部分についての習熟が図られてきていることが分かります。これは、普段の授業はもちろん、宿題においても基礎的な問題を多く取り扱ってきた成果と言えます。記述問題等の活用力については、この基礎的な力を土台として今後、伸ばしていけるよう取組を行っていきます。

◆今後は引き続き、基礎学力の定着を図りながら、特に「図形」領域においては、図形を実際に操作したり、描いたりする活動を多く取り入れ体験したことを知識や技能に結び付けられるようにしていきます。また、記述等の活用力を身に付けるために、授業の中で、自分の考えを説明したり書き表したりする時間を位置付けていきます。